

◆第2期上尾市地域創生総合戦略『数値目標』及び『重要業績評価指標(KPI)』(案)

		基準値		目標値		指標の説明	目標数値設定の考え方
		平成31年度 (2019)		令和7年度 (2025)			
基本目標		数値目標					
1 活力にあふれたにぎわい あるまちづくり		(a) 市内法人の従業者数(商工課・ データ提供:市民税課)		56,889人	59,733人	雇用が創出された人数。	経済状況など、外的な要因による影響も大 きいことから、5％程度の増加を目指す。
基本方向	重点施策	重要業績評価指標(KPI)					
(1)雇用を創出 する取組	①産業の活性化	(b) 利用権が設定された農地の 面積(農政課)	64ha (R2見込み 61ha)	66ha	農地を借りたい者と高齢などにより 耕作できない農地所有者との間で 利用権が設定された農地の面積。	一部の農地が契約の期間満了によりR2年度 実績が61haになる見込みであり、人・農地プ ラン等地域の話し合いによって、中心的な 担い手に対して、集団的に農地を利用でき るよう貸し借りを進めていくことで、年1haの 増加を目指す。	
		(c) 中小企業サポート件数(商工課)	159件	175件	企業訪問・創業・販路開拓、よろず 相談を通じて支援した件数。	H30までは幅広い企業に対して支援を行っ ていたが、H31より効果を上げるため特定の 企業に対して集中的な支援を実施するよう にしたため、件数の伸びは以前ほどではな い。この状況を踏まえ、年3件程度の増を目 指す。	
		(d) 法人市民税額(商工課・ データ提供:市民税課)	19億2891万円	20億2535万円	法人の仕事の成果を示す数値であ る法人税額(市内に事務所や事業 所がある法人に対し均等割及び法 人の所得に応じて課される税)。	経済状況など、外的な要因による影響も大 きいことから、5％程度の増加を目指す。	
(2)労働環境の 充実	②勤労者・就労 支援	(e) キャリア形成支援対象者数 (商工課)	12,608人	13,868人	キャリア形成支援のための、就職セ ミナーや個別就職相談等の相談者 数(参加者数)。	12,000件前後で推移しており経済状況等の 影響によっても増減するため、現状以上を 維持しつつ、年200人程度の増加を目指 す。	

◆第2期上尾市地域創生総合戦略『数値目標』及び『重要業績評価指標(KPI)』(案)

		基準値	目標値	指標の説明	目標数値設定の考え方	
		平成31年度 (2019)	令和7年度 (2025)			
基本目標	数値目標					
	(f) 年少人口(行政経営課)	27,534人	27,259人	出生数を含む子育て支援の対象数。	合計特殊出生率が2045年までに2.07に回復することを展望して算出した年少人口を目指す。	
	(g) 上尾市学力学習状況調査における市内標準得点(全国標準得点を50.0とする)(指導課)	51.2	52.2	全国との比較も可能である上尾市学力学習状況調査における市内標準得点(小学校と中学校の各々の市内標準得点の平均数値)。	小学校の過去最高得点が52.5、中学校の過去最高得点が51.9であり、各々の過去最高得点の平均52.2(基準値から1%の向上)を目標とする。	
2 明日を担う人が育つまちづくり						
基本方向	重点施策	重要業績評価指標(KPI)				
(1) 出産・子育て支援の充実	①妊娠から子育てまで切れ目ない支援の充実	(h) 子育て世代包括支援センターでの対応延べ件数(健康増進課)	窓口1,672件 電話2,182件	窓口1,700件 電話2,300件	子育て世代のサポートのために行った情報提供や相談件数。	H29～31の実績を参考に目標値を設定。
	②子育て施設・環境の整備	(i) 保育園の待機児童者数(保育課)	15人	0人	厚生労働省が提示している定義による市内保育園の待機児童者数。	子ども・子育て支援事業計画に基づき待機児童0を目指す。
		(j) 放課後児童クラブの待機児童者数(青少年課)	0人	0人	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生が放課後を過ごす放課後児童クラブの待機児童者数。	現行の待機児童0の維持を目指す。
	③地域全体での子育て世代の支援	(k) 地域子育て支援拠点の利用者数(子ども支援課)	86,165人	93,998人	地域の子育て世代への支援の充実を図るため、市内にある一部の保育園や幼稚園などに設置している支援拠点の利用者数。	ここ数年は微増減を繰り返していることもあり新型コロナウイルス以前の利用者数の維持を目指す。
		(l) 児童館の利用者数(青少年課)	275,014人	255,750人	子どもたちが集い、遊び、学ぶことができる場として、子どもの健全な成長をサポートする児童館の利用者数。	「第2期上尾市子ども・子育て支援事業計画」の児童人口(0～11歳)の推計では、H31の21,737人に対し、R6は20,273人(6.7%減)の見込みであることから、H31実績の7%減にとどめる。
(2) 子どもが健やかに育つことができる環境の整備	①確かな学力と豊かな心の育成	(m) 児童生徒保護者の学校満足度(指導課)	93%	100%	児童生徒及び保護者に行うアンケートで学校に満足していると回答している割合。	全ての児童生徒保護者が満足できることを目標とすることから100%を目指す。
	②魅力ある学校づくりの推進	(n) 学校応援団の延べ活動日数(指導課)	11,302日	15,000日	学校での教育活動を支援する保護者、地域の方によるボランティアの活動組織による活動日数。	1校につき約100日の増加を目指す。

◆第2期上尾市地域創生総合戦略『数値目標』及び『重要業績評価指標(KPI)』(案)

		基準値		目標値		指標の説明	目標数値設定の考え方
		平成31年度 (2019)		令和7年度 (2025)			
基本目標		数値目標					
		(o) 転入超過の数(行政経営課)	813人	1,872人	転入数から転出数を差し引いた数。	純移動率は国立社会保障・人口問題研究所の仮定値(平成30年推計)どおりに推移し、合計特殊出生率が2045年までに2.07に回復することを展望して算出した転入超過の数を目指す。	
		(p) 地域防災訓練の実施率(危機管理防災課)	94%	100%	災害時に最も大切なのは初動であることに鑑みた地域で防災訓練を実施している割合。	年1%の増加を目指す。	
		(q) 健康寿命(健康増進課)	男17.94 女20.36 (H30埼玉県の健康寿命から)	男19.53 女21.27	65歳に到達した人が健康で自立した生活を送ることができる期間(「要介護2」以上になるまでの期間)。	H26実績からH30実績までの前年比の平均を出し×7年間で算出した数値を目標とする。 H26実績からH30の平均前年比(男0.28 女0.13)	
3 魅力があり安心して暮らすことができるまちづくり							
基本方向	重点施策	重要業績評価指標(KPI)					
(1) 魅力あるまちづくり	① 魅力の発信	(r) SNS登録者数(広報広聴課)	13,865人	21,960人	市の情報発信として活用している本市のSNSアカウントの登録者数。	本市のSNSのうち、利用者が多いTwitter及びLINEの登録者数の合計値を使用。	
		(s) ふるさと納税の寄付額(財政課)	19,337千円	60,000千円	応援したい自治体に寄附ができるふるさと納税の寄付額。	基準値の約3倍を目指す。	
	② スポーツ・レクリエーション及び健康づくりの推進	(t) スポーツ・レクリエーション事業の参加者数(スポーツ振興課)	10,780人	20,000人	スポーツ・レクリエーションの振興を図るために行っている事業の参加者数。	H31実績(10,780人)は、市民体育祭が台風の影響で中止となり、実績数が大幅に減少していることから過去5年間の平均参加者数約17,500人より概ね10%増を目指す。	
		(u) 各種がん検診の受診率(健康増進課)	胃がん3.0% 子宮がん8.6% 肺がん5.1% 乳がん10.4% 大腸がん13.9%	いずれも50%	心身ともに健康の保持増進を図るための各種がん検診の受診率。	第3期埼玉県がん対策推進計画で県全体で目標としている数値(50%)を目指す。	
(2) 安心で良好な住環境のまちづくり	① 地域防災力の向上及び災害援助・復旧体制の確立	(v) 防災士の育成人数(危機管理防災課)	118人	208人	地域の防災力向上のキーマンとなる防災士の育成人数。	年15名の増加を目指す。	
		(w) 災害時応援協定の延べ締結数(危機管理防災課)	127件	145件	災害援助、復旧体制のために、他市町村や民間企業などと締結している協定の締結数。	年3件の増加を目指す。	
	② 交通手段の充実	(x) 市内循環バス「ぐるっとくん」利用者数(交通防犯課)	480,306人	500,000人	交通の利便性向上のために運行している市内循環バス「ぐるっとくん」の利用者数。	約4%増(H25からH31伸び率同等)を目指す。	